

わたしの意見

伝統をひきついで ～笑顔を作る岩屋の祭り～

私が住んでいる岩屋では、春と秋に祭りがあります。「ドンドコドンドコ♪」太鼓の音、「やっさやっさ♪」と歌が聞こえてくると、みんなワクワクしてだんじりを見に集まってきます。岩屋の町が人でいっぱいになります。コロナでできなかつた祭りが久しぶりに9月にあるので、すごく楽しみです。子供から



たちき うた
立木 羽音さん
(石屋小学校6年)

大人、おじいちゃんおばあちゃん、みんなで助け合いながら楽しめる岩屋の祭り。この伝統をひきついでいきたいです。

【お詫びと訂正】

淡路市議会だよりNo.71号に掲載しました紙面におきまして、氏名の誤りがありました。正しくは、次のとおりです。

寄稿者の氏名 (正) 大森 小蒨さん
(誤) 大森 小薪さん

関係者並びに読者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、訂正させていただきます。

編集後記

この度、この議会だよりは、1期2期の若手委員の構成となり、以前から検討していた紙面の全面リニューアルを行いました。一人でも多くのファンが増えればと願っています。

今回の表紙写真は、海開き前に、今、話題のSUP(サップ)体験イベントの様子です。同じ日に、海岸清掃もありました。委員皆の投票で決まりました。子どもたちの満面の笑顔って本当に素敵ですね。子どもたちの

未来のために、私たちも一層頑張ります。

遅くなりましたが、1年間、このような顔ぶれで、編集作業を行いました。今後とも引き続きご意見等をお聞かせいただければ幸いです。(副委員長 富永康文)



【編集委員】

石岡義恒 長瀬雅宏
岡田教夫 戸田敦大
村田沙織 古山久則
多田耕造

ずっと大切にしたい ふるさとの風景

僕の住んでいる一宮には、多賀の浜があります。多賀の浜は美しい海や景観を持っていて、僕の癒しです。

夏には、美しい海での海水浴や水遊びができる最適な環境です。

僕は、毎日学校に登校するのにこの多賀の浜を通ります。季節ごとに変化する景色は、自然を直に感じることができ、僕のお気に入り



さくらい かずほ
櫻井 紀輔さん
(一宮中学校3年)

りの場所です。

地域の人が愛する多賀の浜を活気あふれるようにし、この美しさを残していきたいです。

わたしの故郷 淡路市に思うこと

私は、自然豊かで、笑顔があふれる故郷・淡路市が大好きです。

私は今回、淡路市役所でインターンシップを経験できることになりました。以前から大好きな故郷を支える仕事に興味があり、とても楽しみにしています。私の将来の夢は、故郷淡路市が今よりも更に自然豊かで、過ごしやすくなるような活動を



ふくい ななみ
福井 菜々実さん
(津名高校2年)

することです。

大好きな淡路市の良さを再認識し、グローバルな視点で淡路市に貢献できるようたくさんの経験を重ねたいと思います。